

MQSeries® Everyplace



最初にお読みください

MQSeries® Everyplace



最初にお読みください

本書は、MQSeries Everyplace バージョン 1.0 に適用されます。また、特に断りがない限り、後続のすべてのリリースおよび改訂レベルにも適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典 :	GC34-5862-00 MQSeries® Everyplace Read me first
発 行 :	日本アイ・ピー・エム株式会社
担 当 :	ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2000. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 2000

まずお読みください

本書には、MQSeries Everyplace バージョン 1.0 のインストール方法、およびこのツールキットを使用する前に読んでおくべき重要な情報が記載されています。

ライセンスについての注意

MQSeries Everyplace バージョン 1 ツールキットにより、開発者は MQSeries Everyplace アプリケーションを作成し、それを実行するための環境を作成することができます。

ツールキットのご購入の際のライセンス条件により、それを使用できる環境が決まります。

MQSeries Everyplace をデバイス (クライアント) として使用するために購入された場合は、その *MQSeries Everyplace* を使用して **MQSeries Everyplace** チャンネル・マネージャー または **MQSeries Everyplace** チャンネル・リスナー を作成することはできません。

MQSeries Everyplace チャンネル・マネージャー または **MQSeries Everyplace** チャンネル・リスナー の存在により、ゲートウェイ (サーバー) 環境が定義されますが、それにはゲートウェイ・ライセンスが必要です。

第1章 インストール手順

以下の手順により、MQSeries Everyplace アプリケーションの開発に使用するマシン上に、MQSeries Everyplace をインストールすることができます。本リリースでは、MQSeries Everyplace のパーベイシブ・デバイス (各種携帯型端末) への展開は、アプリケーションおよびソリューション提供者の責任で行っていただきます。

MQSeries Everyplace のインストール・プログラムは自己抽出型の Java[®] クラス・ファイルであり、ご使用のコンピューターの作業ディレクトリーにコピーして実行する必要があります。インストール・プログラムは、必要な作業ファイルを抽出して作業ディレクトリーに入れ、MQSeries Everyplace ファイルをご使用のコンピューターにコピーし、さらに作業ファイルをクリーンアップします。その後インストール・プログラムを削除しても構いません。

インストール・ステップ

インストール中いつでも、画面上の「Back (戻る)」ボタンをクリックすれば、直前の画面に戻って、情報を再検討したり変更することができます。インストールの手順を中止してインストールを取り消す場合は、どの画面でも「Cancel (取り消し)」ボタンをクリックしてください。

以下のとおりに MQSeries Everyplace をインストールします。

1. 製品 CD を CD-ROM ドライブに入れます。
2. インストール・プログラム *install.class* を、ご使用のコンピューターの Java classpath に含まれている作業ディレクトリーにコピーします。
3. その作業ディレクトリーに移動し、ご使用のコンピューターの Java コマンドを使用してインストール・プログラムを実行します。通常、このコマンドは `java` または `jre` です。以下に例を示します。

```
cd <working directory>
set classpath=.
java install
```

4. ウェルカム画面が表示されたら、MQSeries Everyplace プログラムをインストールすることを、「Next (次へ)」ボタンをクリックすることにより確認し、インストールを続けます。
5. 次の画面には、ライセンスの合意事項が表示されます。これを読んだ上で、ライセンスの条項を受け入れるならば「Yes (はい)」ボタンをクリックしてください。ライセンスの条項を受け入れられない場合は、「No (いいえ)」ボタンをクリックしてインストールを中止します。
6. 次の画面では、MQSeries Everyplace ファイルのコピー先となるデフォルトのディレクトリー位置が示されます。この位置を変更したい場合は、「Browse (参照)」ボタ

ンをクリックして、ディレクトリー・リストから新しいディレクトリーを選んでください。「Next (次へ)」ボタンをクリックしてインストールを続けます。

7. インストール・プログラムはいくつかのショートカットを開始メニュー・フォルダーに作成しますが、次の画面ではこのフォルダーのデフォルト名が示されます。デフォルト名に上書きすることにより、この名前を変更することもできます。「Next (次へ)」ボタンをクリックして先へ進みます。
8. 次の画面では、インストール位置と、ショートカットの開始メニュー・フォルダーの名前を確認します。情報が正しいことを確認の上、「Next (次へ)」をクリックして続行します。情報が正しくない場合は、「Back (戻る)」をクリックし、必要に応じてステップ 5 または 6 を繰り返してください。
9. これで、MQSeries Everyplace ファイルがコンピューターにコピーされます。画面の右下隅にあるコピー進行状況ボックスで「Cancel (取り消し)」ボタンをクリックすれば、コピー中にインストールを取り消すことができます。
10. コピーが完了したら、画面中央にダイアログ・ボックスが表示され、ファイルが正常に転送されたことを確認できます。「OK (了解)」ボタンをクリックして、最後のインストール画面に進みます。
11. 最後の画面では、インストールを終了する前に、Readme ファイルを閲覧することができます。Readme ファイルはコンピューターのインストール・ディレクトリーにコピーされるので、後で参照することもできます。インストールを終了するには、「Finish (完了)」ボタンをクリックしてください。

インストール・コンポーネント

MQSeries Everyplace ツールキットの正常なインストールの後には、以下の Java コードベース・コンポーネントがコンピューターに入っています。

基本クラス

すべての MQSeries Everyplace 機能をインプリメントするクラスのセットです。これらのクラスのサブセットにより、デバイス (クライアント) 用のサブセットや、ゲートウェイ (サーバー) 用のサブセットといった、各種の MQSeries Everyplace 構成を提供することができます。

サンプル・クラス

多くの MQSeries Everyplace の機能の利用法を例示するクラスのセットです。これらのクラスのソース・コードも提供されています。

Web 上の MQSeries Everyplace コンポーネント

以下の MQSeries Everyplace コンポーネントは製品 CD-ROM で配布されるのではなく、MQSeries Everyplace Web サイト (www.ibm.com/software/mqseries/everyplace) からダウンロードすることにより利用できます。

MQSeries Everyplace for Palm

リモート・キューからの同期アクセスだけを提供する、C でインプリメントされた MQSeries Everyplace 機能の限定セット。このコードは Palm オペレーティング・システム用です。

MQSeries Everyplace Explorer

Java で書かれた管理ツール。ローカルおよびリモートのキュー・マネージャー、キュー、およびメッセージの構成と活用が可能になります。

MQSeries Everyplace Postcard

スタンドアロン MQSeries Everyplace ネットワークの操作や、MQSeries Everyplace と MQSeries ネットワークの相互協調処理の検証を行える MQSeries Everyplace アプリケーションです。

利用できるコンポーネントとダウンロード手順の詳細については、Web ページに記載されています。

MQSeries Everyplace のアンインストール

以下のどちらかの方法により、コンピューターから MQSeries Everyplace を撤去することができます。

開始フォルダー・ショートカットを使用する

MQSeries Everyplace のインストールの際に、始動メニューにフォルダーが作成されます。そのフォルダーのデフォルト名は "IBM MQSeries Everyplace" ですが、インストール手順中に変更することもできます。そのフォルダーには "Uninstall" というショートカットが含まれています。このショートカットをクリックしてアンインストール・プログラムを立ち上げ、アンインストールが完了したことをプログラムが示すまで、画面のプロンプトや指示に従ってください。

Windows のコントロール パネルを使用する

標準的な Windows のコントロール パネルを使用して MQSeries Everyplace を撤去することもできます。

1. 「コントロール パネル」ウィンドウを開きます。例: 「スタート」->「設定」->「コントロール パネル」
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 結果として表示される「アプリケーションの追加と削除」ダイアログ・ボックスで、プログラムのリストをスクロールして "IBM MQSeries Everyplace 1.0" を見つけ、それをクリックして選択します。
4. 「追加と削除...」ボタンをクリックしてアンインストール・プログラムを開始します。

アンインストールが完了したことをプログラムが示すまで、画面のプロンプトや指示に従ってください。

第2章 使用開始にあたって

このセクションでは、MQSeries Everyplace ツールキットを使用開始するための情報と手順を提供します。

Readme ファイル

先へ進む前に、Readme ファイルを必ずお読みください。Readme ファイルには、CD-ROM からコピーした MQSeries Everyplace ファイルに関する最新の情報が記載されています。Readme に追加のインストール手順が記されている場合は、すべて実行してください。

MQSeries Everyplace Introduction

この文書の英語版が製品に同梱されています。この資料は MQSeries Everyplace の一般的な紹介であり、製品概念や、MQSeries Everyplace と他の MQSeries 製品との関係を網羅しています。

この文書の Adobe Acrobat で読める形式も利用できます。これは製品 CD-ROM にあり、ファイル名は hmq8ac00.pdf です。

プログラミング資料

MQSeries Everyplace プログラミング・ガイド および *MQSeries Everyplace* プログラミング・リファレンス は、MQSeries Everyplace プログラムを書くにあたり、また MQSeries Everyplace システムを管理するにあたって必要とされる情報を提供しています。これらの資料は、MQSeries ライブラリー Web サイトのブック・セクションから、Adobe Acrobat で読める形式で入手できます。このサイトは、MQSeries Web ページ (<http://www.ibm.com/software/ts/mqseries/>) からアクセスできます。

プログラミング・ガイド には、MQSeries Everyplace アプリケーションを書いたり、システムを管理したりするためのガイダンスと手順情報が記載されています。

プログラミング・リファレンス には、MQSeries Everyplace アプリケーション・プログラミング (API) についての詳細記述が記載されています。

注: Adobe Acrobat Reader を入手する必要がある場合や、Acrobat Reader がサポートされているプラットフォームに関する最新情報を得たい場合は、Adobe Systems Inc. の Web サイト (<http://www.adobe.co.jp/>) にアクセスしてください。

第3章 翻訳

バージョン 1.0 では、MQSeries Everyplace の下記のコンポーネントは、英語以外の言語に翻訳されています。

- Mini-certificate Server グラフィカル・ユーザー・インターフェース
- Example Trace グラフィカル・ユーザー・インターフェース

トレース・メッセージなどの他のコンポーネントは NLS (各国語サポート) 対応になっていますが、まだ翻訳されていません。

翻訳済みの資料

一部のマニュアルは英語以外の言語に翻訳されています。これらの翻訳文書は Web からダウンロードして利用することができます。入手できるバージョンとダウンロード手順についての詳細は、MQSeries Everyplace Web サイト (www.ibm.com/software/mqseries/everyplace) に記載されています。

商標

次のものは、IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

MQSeries

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



部品番号: CF877JA

Printed in Japan

GC88-8656-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

CF877JA

